

事業所名

放課後等デイサービス のぞみ

支援プログラム

作成日

令和6年

12月

15日

法人（事業所）理念		「どんなに重い障害をもって、何かが出来る。一人で出来なかったらみんなで助け合う。そして多くの方々と交流を大切にして地域社会の中に生活の基盤を築いていきたい」						
支援方針		①生活能力向上のための活動や体験を行いながら心と体を育むことを支援し、安心してすごせる時間を提供します。 ②利用者にとって魅力的なプログラムの作成をします。						
営業時間		8時	30分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	健康状態の把握 健康な心と身体育て、健康で安全な生活が送れるように支援します。また、利用時には健康状態のチェックを行う。その際に意思表示が難しい場合、本人からの小さなサインに気が付けるように普段の様子を把握しておく。						
	運動・感覚	①姿勢保持・運動動作の基本的技能の向上 本人を適切に評価し、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動動作の改善及び維持、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 ②感覚の特性への対応 本人の特性に配慮し、視覚、聴覚、触覚を活用できるような遊びを行う。ボール遊び、音楽鑑賞、折り紙等を行う。						
	認知・行動	①認知と行動 物の機能や形、色、音が変化する様子、空間、時間の概念の形成を図ることによって、認知や行動の手がかりして教材を活用して取り組む。立体パズル、IPAD ②認知の偏り 本人を適切に評価し、情報を適切に処理できるように集団活動の中で環境を整えていく。						
	言語 コミュニケーション	コミュニケーション能力の獲得 本人の発達段階に応じて、会話や文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の意思を伝えることが出来るように支援する。						
	人間関係 社会性	①集団活動支援 集団の中で自発的に活動に参加できるように環境を整えて支援していく。レクリエーション ②外出活動 地域の中に何があるのか、どのような人達が住んでいるのかを知る。社会科見学、外食等。						
家族支援		利用時にLINEを使用し、活動内容をお伝えする。また、年に2回の保護者面談にて現状の情報共有やニーズを把握していく。		移行支援		障害の特性および発達の状況に応じた支援を行い、保護者や移行先へ伝達をしていく。また移行先と支援方針を共有しスムーズに移行できるように配慮する。		
地域支援・地域連携		本人の関係機関との連携・情報共有。 学校・相談支援事業所・障害福祉サービス事業所等。 自立支援協議会への参加。		職員の質の向上		毎月行う、ケース会議・職員会議。 内部研修・外部研修への参加。		
主な行事等		・季節の行事（花見・夏祭り・クリスマス会・書初め） ・10月には法人のお祭り「いずみ園祭」 ・長期休みでは外出活動						